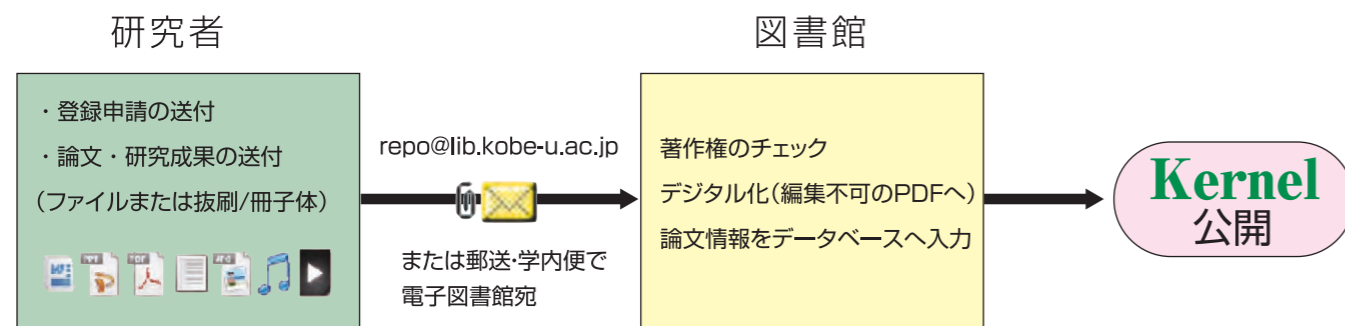


登録について

登録から公開まで



※オープンアクセスジャーナルに掲載された論文の機関リポジトリでの公開を刊行元が許諾している場合は、図書館で公開した後にご連絡します。

登録できる資料

- 学術雑誌掲載論文、紀要論文、博士学位論文、図書、データベース、教材、ソフトウェア、その他公開可能な教育・研究成果。

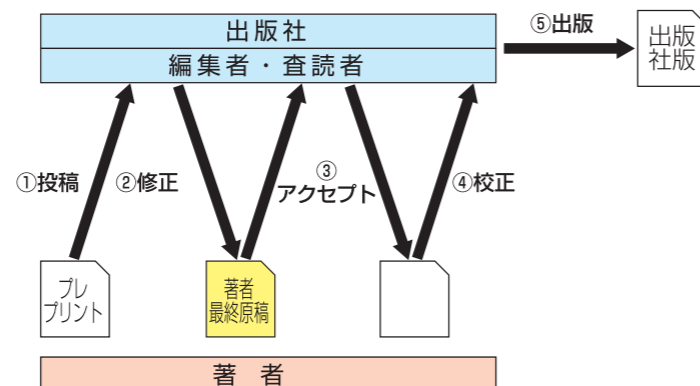
登録できる人

- 神戸大学に在籍、又は在籍した教職員（非常勤職員を含む）。
- 神戸大学大学院博士課程に在籍、又は在籍した大学院生及び研究生。
- その他、附属図書館長が認めた者。

留意点

- 雑誌などに掲載された論文のリポジトリでの公開条件は、発行元である出版社・学会によって異なります。発行元の公開条件は図書館が調査します。
- 海外の学術出版社の多くは、著者自身による著者最終原稿版の一般公開を許可しています。著者最終原稿とは出版社に提出(submit)し、査読後の修正を経て、出版社が最終的に受理(accept)した原稿のことです。

- 共著者がいらっしゃる場合は事前にそれぞれの許諾を得てください。



資料送付先・問合せ先

657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学附属図書館 電子図書館 (社会科学系図書館内)
TEL:078-803-7333 FAX:078-803-7336 問い合わせフォーム <https://lib.kobe-u.ac.jp/userguides/contact/contact-repo/>

作成日：2008.6 最終更新日：2018.11 (ver. 4)

神戸大学 学術成果リポジトリ Kernel



神戸大学学術成果リポジトリ**Kernel**は、神戸大学の学術成果を集積し保存・公開することを目的とした電子的アーカイブです。

神戸大学の教育・学術研究の核になり、

ここに集まる様々な成果＝種から更なる研究が芽生え、成果として実ることを願い、果実の核を意味する「**Kernel**」から命名されました。

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/>

神戸大学



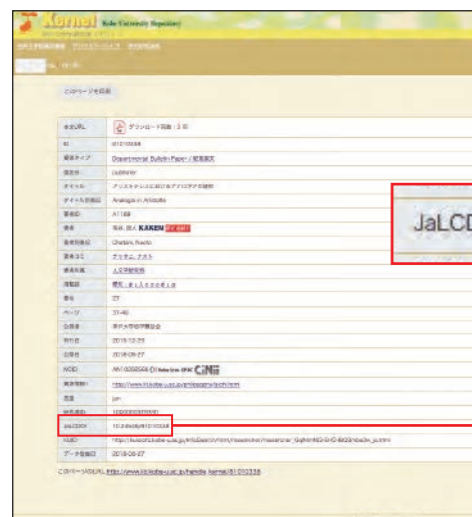
Kernelから学術成果を公開するメリット

- ◆研究者にとって
 - 研究成果の可視性向上
 - 研究成果の恒久的保存・管理

- ◆大学にとって
 - 神戸大学の研究・教育活動の公開
 - 神戸大学ブランドのイメージ向上
 - 研究機関としての説明責任・社会貢献

- ◆利用者にとって
 - 神戸大学研究成果への容易なアクセス
 - 神戸大学の研究活動・研究動向の把握
 - 研究成果を基にした更なる研究の発展

JaLC DOIの付与



JaLCDOI 10.24546/81010338

詳細: Kernel コンテンツに対するJaLC DOI 付与
<https://lib.kobe-u.ac.jp/kernel/jalcdoi/>

「10.24546/〇〇〇〇〇〇〇〇 (KernelのID8桁)」がJaLC DOIとして機能します。

DOIとは?

電子コンテンツに恒久的に与えられる識別子です。JaLC DOIはJapan Link Center (JaLC)が付与するDOIです。

活用方法

JaLC DOIの前に「<http://doi.org/>」をつけることで、URLとして機能します。このURLはコンテンツを一意に特定し、永続的なアクセスを保証します。この他、各種報告書のDOI記入欄に入力できます。

付与対象

神戸大学の学内刊行物(Kernelで一部・または全体を継続的に公開している紀要)および学位論文(予定)です。

Kernelを利用している研究者の声



保健学研究科
亀岡 正典先生

ウイルス感染症対策に関連する研究および教育活動を保健学研究科で行っていますが、これまで学術雑誌等に発表した論文を順次 Kernel に登録してもらっています。

Kernel は神戸大学で行われている研究の成果を学内のみならず一般に公開する良いシステムと考えます。このシステムをきっかけとして新しい共同研究や教育活動の発展に繋がれば幸いです。



国際コミュニケーションセンター
石川 慎一郎先生

当研究室では、コーパス言語学分野の国際学会を定期的に主催しています。これまで、学会後に発表論文を集めた Proceedings を発刊してきましたが、印刷媒体のため、幅広い読者に読まれにくいという課題がありました。そこで、Kernel 上で、過去の Proceedings の電子化と一般公開をお願いしたところ、掲載論文が citation される機会も増え、非常に感謝しています。今後、Kernel には、学会を主催する研究者を対象として、電子版 Proceedings 刊行の総合的なサポート等もお願いできればありがたいと思います。

神戸大学オープンアクセス方針

神戸大学は、学内の研究成果を網羅的に収集し機関リポジトリを通じて公開することにより、学術研究の発展に寄与するとともに本学の認知度の向上を図るため、2017年1月10日にオープンアクセス方針を採択しました。対象は2017年2月1日以降に出版された論文です。詳細については下記をご参照ください。

神戸大学オープンアクセス方針
<https://lib.kobe-u.ac.jp/oapolicy/>

公開論文数と年度別ダウンロード数推移

